

# 手術で得られるメリット



## ワンちゃんの去勢手術

手術を受けることで、様々な病気の予防ができます。また発情のストレスから解放させるだけでなく、問題行動を改善できる可能性があります。

### どんな手術なの？

左右の精巣（睾丸）を摘出する手術です。

術前検査の結果に問題がなければ、何歳でもできますが、初めての性成熟（生後6ヶ月位）前に実施するのが理想的です。

麻酔の覚め具合がよければ、**日帰り手術**になります。当院では特別な症例を除き、**体内に糸を残さない手術**を行っています。



## 予防できる主な病気

- 精巣腫瘍 精巣が腫瘍になって腫れ上がる疾患です。ワンちゃんの場合は人間よりも発生率が高く、悪性腫瘍の場合が多いです。
- ※ 潜在精巣 片側もしくは両側の精巣が正常な位置に収まらない状態を潜在精巣といいます。**潜在精巣は腫瘍化する可能性が非常に高く、繁殖に用いると遺伝するため、繁殖はできません。**
- 前立腺腫瘍 その多くがガン（悪性腫瘍）である可能性が高く、**発見された時点で手遅れとなっているケースが多い病気です。**老犬に多く見られます。
- 会陰ヘルニア 肛門のまわり（会陰部）にある筋肉の間に隙間ができ、そこにお腹の中の臓器が飛び出してしまう病気です。



潜在精巣の例

## その他の効果

- マーキングやマウンティング、遠吠え、他の犬とケンカなどの問題行動を改善できる可能性があります。



- 望まない妊娠を防ぐことができます。



- 発情にともなう体調の変化やストレスから解放されます。



**大切な家族のためには、早期の手術をお勧めします。**

## 去勢手術のデメリット

### ● 麻酔の危険性

現在、人医療においても、「100%安全な麻酔」は存在しません。少しでも麻酔の危険性を減らすために十分な注意を払います。その為、当院では必ず術前検査を行ってから手術になります。

手術中は各種モニターにより生体反応(心拍数、呼吸数、血圧、体温、動脈血酸素飽和度)を観察し、異常時に備えております。



### ● 太りやすくなる

男の子、女の子ともに発情ストレスがなくなり必要カロリーが少なくなります。手術前と同じ量のフードを食べていると太りやすくなる傾向がありますので、カロリーコントロールをおすすめします。太りにくいようにカロリー計算されているフードも販売しています。



### ● 繁殖ができなくなる

術後は、交配、出産ができなくなります。



## ワンちゃんの年齢換算早見表

出産からの日数	小型・中型犬	大型犬
1カ月	1歳	1歳
2カ月	3歳	1歳
3ヶ月	5歳	2歳
6ヶ月	9歳	6歳
9ヶ月	13歳	8歳
1年	17歳	12歳
2年	24歳	19歳
3年	28歳	26歳
4年	32歳	33歳
5年	36歳	40歳
6年	40歳	47歳
7年	44歳	54歳
8年	48歳	61歳
9年	52歳	68歳
10年	56歳	75歳
11年	60歳	82歳
12年	64歳	89歳
13年	68歳	96歳
14年	72歳	103歳
15年	76歳	110歳

御不明な点は御気軽にスタッフまでお尋ねください。



成田動物病院 黒石

☎ 0172-55-8520

## ワンちゃんの去勢手術について



去勢手術をすると様々な病気を予防できるため長生きにつながります。

また、もらい手のないかわいそうな子を増やさないためにも、手術をしてあげるようにしましょう。